

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道 北竜町

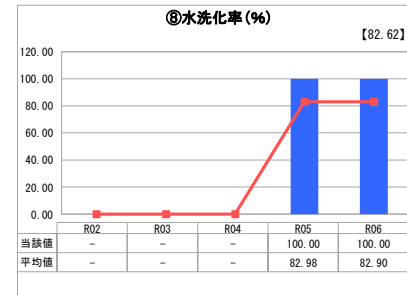
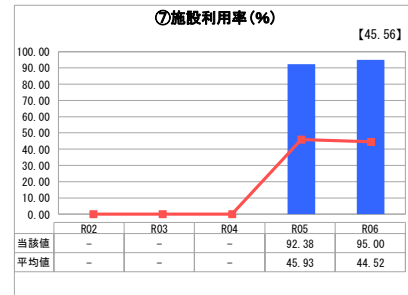
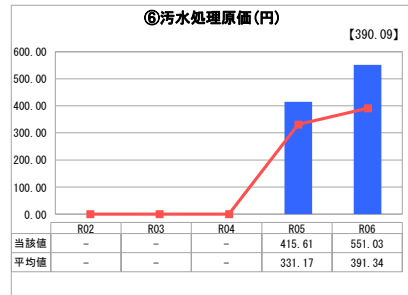
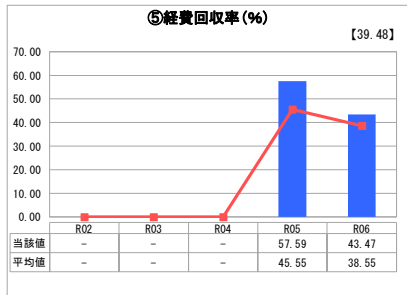
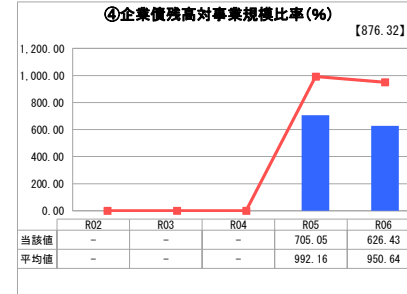
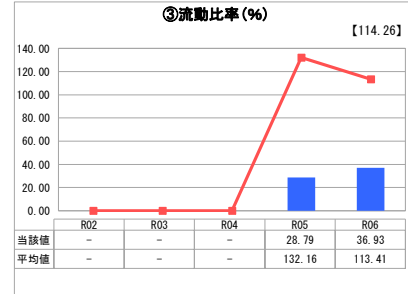
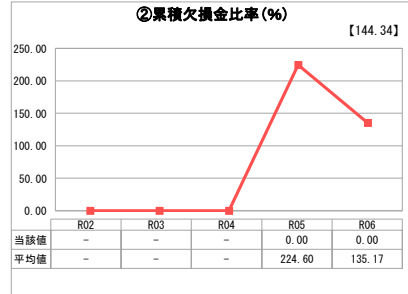
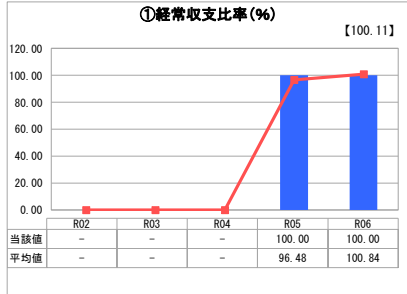
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	21.30	31.89	100.00	5,000

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,593	158.70	10.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
501	22.00	22.77

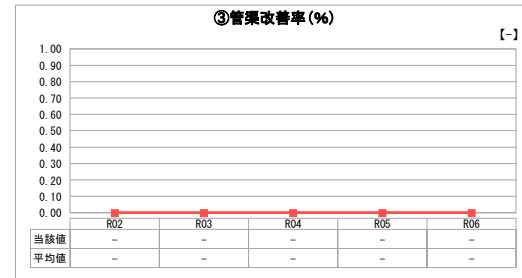
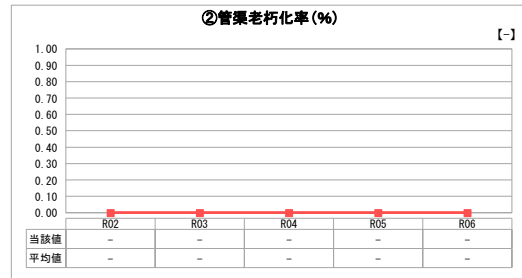
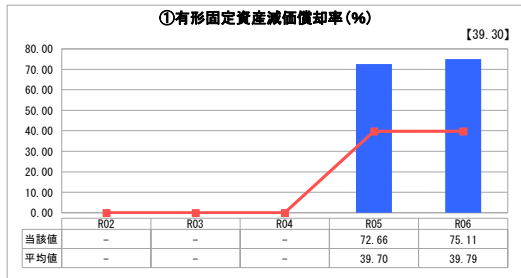
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

R5年度より企業会計に移行し2年経過した。経常収支比率は平均値を下回っていますが、一般会計からの繰入金により赤字補填を行っているため100%となっている。  
 累積欠損金比率は赤字補填を行っているため欠損金が発生しておりません。  
 流動比率は平均値より低くなっているものの、原資は確保できている状況です。  
 企業債残高対事業規模比率は平均値より低くなっています。これは事業費用が減っており企業債残高が減ったことによるものと推察されます。  
 経費回収率は平均値より高いが、100%を下回っているため、一般会計繰入金で補填している状況です。  
 汚水処理原価は維持管理費や修繕等により平均値より高くなっています。このため、料金の改定を検討します。  
 施設利用率や水洗化率は平均値より高比率となっています。今後も浄化槽を設置できるよう事業を進めて参りますが、近年の傾向から設置数の増加は見込めない状況です。

### 2. 老朽化の状況について

本町の個別排水処理事業はH7年度から実施しており、浄化槽の耐用年数は30年以上あるといわれていることから、まだ老朽化しているとは考えられていませんが、定期的な清掃業務、保守点検、修繕業務、またプロアポンプやダイヤフラム等の消耗品については故障しているものを順次交換を行っており、設備の長寿命化に努めて参ります。

## 全体総括

今後は住宅解体による浄化槽撤去やプロアポンプ等の修繕費の増が見込まれます。  
 また新規の浄化槽設置の見込は少ないと思われ、人口や設置基数の減による収入の減少も見込まれると予想されますので、料金改定や一般会計からの繰入金を検討し、安定した経営の健全化を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。